

韮山町

地形概況

東部は玄岳から西にのびる多賀火山の緩斜面と侵食谷がしめ、丹那断層が南北に通過する。西部は狩野川・柿沢川にそう三角州性低地がひろがり、旧河道や旧中州も残る。火山体の末端は丘陵性地形となり台地・扇状地が形成される。

地質概況

東部は多賀火山の西斜面にあたり、安山岩質溶岩や火山角礫岩が分布している。山麓には侵食により湯ヶ島層群が露出する。火山灰の堆積地には石英安山岩の貫入体もみられる。低地は泥層が厚く堆積し、砂泥礫層が分布する地域もある。

気象概況

年平均気温は推定 15.4℃、年平均降水量が推定 1,950mm で冬季は温暖で穏やかな晴天の日が続く、夏は涼しく、気温の年較差が少ない。降雨は県内では少ない方であるが春から夏季(5月～8月)にかけて全降水量の約 50%の雨が降る。

災害事例 地震

- 1930 年 11 月 26 日（昭和 5 年）北伊豆地震 M=7.3
丹那断層を生じ、伊豆北部を中心に被害が大きかった。当町でも死者 75 人、負傷者 105 人、住家全潰 517 戸、半潰 335 戸、付属建物倒壊 1,084 棟、建物損壊 518 棟、全焼 3 戸、荒廃林地 4 町歩などの大きな被害を受けた。
- 1923 年 9 月 1 日（大正 12 年）関東地震 M=7.9
東京・横浜を潰滅させた大地震。家屋全潰韮山村で 23 戸(1.9%)。
- 1854 年 12 月 23 日（安政元年）安政東海地震 M=8.4
県下に大被害を受けた大地震であるが、当地では韮山で震度 5、原木で震度 4 の程度であった。

災害事例 台風

- 1958 年 9 月 26 日（昭和 33 年）狩野川(22 号)台風
伊豆半島一帯で被害甚大で、死者・行方不明 1,000 人以上に達した。狩野川が増水し四日町付近の浸水水位は 5m 以上になった。被害は、死者 66 人、負傷者 212 人、行方不明 2 人、全壊 50 戸、半壊 206 戸、流失 128 戸、床上浸水 874 戸、床下浸水 68 戸、流埋田畑 447ha に及んでいる。
- 1924 年 9 月 16 日（大正 13 年）
県東部・伊豆半島で諸河川の氾濫による被害があった。韮山村では、床上浸水 596 戸、床下浸水 97 戸、冠水耕地(田畑)481ha である。石廊崎で最大風速 50.4m/s、雨量は、湯ヶ島 330mm、下狩野 290mm、伊東 275mm に達した。
- 1914 年 8 月 29 日（大正 3 年）
午後から暴風雨となり、石廊崎で 52.8m/s の最大風速を記録した。このため狩野川は増水し、平水位上約 8m に達し、各所で堤防が決壊氾濫した。狩野川流域での被

害は堤防決壊・破損 972 箇所、橋梁流失・破損 516 箇所、住家流失崩壊 273 戸、浸水 5,566 戸、田畑流失・埋没 185ha などに及んだ。

- 1910 年 8 月 10 日(明治 43 年)
全県下特に中・西部で被害が大きかった。山間部で降雨量多く、葦山村・中郷村で約 400 戸浸水。
- 1903 年 10 月 2 日(明治 36 年)
狩野川流域、豪雨で増水、被害を生じた。葦山村では浸水家屋 481 戸で、最高浸水水位は床上約 2m であった。